

都市再生整備計画 事後評価シート
鵜沼駅東部地区

平成25年3月

岐阜県各務原市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	岐阜県		市町村名	各務原市		地区名		鶯沼駅東部			面積	6.5ha	
交付期間	平成20年度～平成24年度		事後評価実施時期	平成24年度		交付対象事業費		601百万円	国費率	0.406			
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業	事業名 市道鶯327号線整備(道路)、鶯沼駅東部地区土地区画整理事業(土地区画整理事業)、市道鶯325号線整備(道路)、街路灯設置(高質空間形成施設)									
			提案事業	公共下水道整備(地域創造支援事業)									
	当初計画から削除した事業		基幹事業	事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			
			提案事業										
	新たに追加した事業		基幹事業	公園:山崎南公園		公園:住環境の向上を図るため追加							
			提案事業										
交付期間の変更		当初	平成20年度～平成24年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響								
		変更	平成 年度～平成 年度										
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
				基準年度	目標年度		モニタリング	評価値	達成度				
	指標1	消防活動困難地区面積率	%	52.0	H19	3.0	H24		0.0	○	あり なし	道路整備事業や土地区画整理事業により、幅員6m以上の道路が整備されたことで、災害時等の緊急車両が容易に進入でき、生活の安全が確保され、地域の防災力の向上に寄与した。	平成25年4月
	指標2	宅地整備率	%	35.0	H19	75.0	H24		85.5	○	あり なし	道路整備事業や土地区画整理事業により、地区内の約2.0haの未利用地が宅地化されたことで、一定水準の住環境や生活交通網が確保された。	平成25年4月
指標3	定住人口	人	260	H19	315	H24		374	○	あり なし	土地区画整理事業による宅地分譲が直接的な要因であり、地区内の狭隘道路の解消や公園整備などの住環境の向上が間接的な効果を及ぼしている。また鉄道駅に近接する交通の利便性や、木曾川、鶯沼城址などの美しい眺望景観を有する立地特性も寄与している。	平成25年4月	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
				基準年度	目標年度		モニタリング	評価値	達成度※1				
その他の数値指標1													
4)定性的な効果発現状況													
<p>○土地区画整理事業により、子育て世帯等の定住人口が増え、地域生活の活性化につながっているとの地域住民の声がある</p> <p>○道路の拡幅により、緊急車両が地区内に進入できるようになったことは安心でき、良かったとの地域住民の声がある</p> <p>○盆踊りなどの地域行事に新しく転入された世帯の方が多く参加している</p> <p>○山崎南公園が完成すれば、以前から住まわれている地域住民と新しく住まわれた住民との交流の場となり、地域コミュニティが促進されるとの地域住民の声がある</p>													
5)実施過程の評価	実施内容				実施状況				今後の対応方針等				
	モニタリング				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								
	住民参加プロセス		・公園整備に関する住民ワークショップの実施		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 今回の住民参加の経験を他地区においても応用していく。				
	持続的なまちづくり体制の構築		・鶯沼南町地区内のまちづくりを担う団体による活動		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 当団体の継続的なまちづくり活動を促進するため、行政と連携を図る。				

様式2-2 地区の概要

鵜沼駅東部地区(岐阜県各務原市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
大目標:『既存の地域コミュニティと景観を維持した、安全で安心なまちづくり』 目標1:コミュニティ道路を整備し、災害などの緊急時にも安心な環境をつくる。 目標2:国道21号線と県道春日井各務原線へのアクセス道路を整備するとともに、土地区画整理により良好な宅地化を行い、地域の活性化を図る。 目標3:木曾川沿岸の景観と調和及び、住環境に配慮したまちづくりを行う。	消防活動困難地区面積率	単位: %	52.0 H19	3.0 H24	0.0 H24
	宅地整備率	単位: %	35.0 H19	75.0 H24	85.5 H24
	定住人口	単位: 人数	260 H19	315 H24	374 H24

市道鵜325号線の整備状況



(整備前)



(整備後)



市道鵜325号線整備 L=307.0m
市道鵜327号線整備 L=230.0m
公共下水道整備 L=1,100m

■基幹事業 土地区画整理事業 A=2.2ha
■基幹事業 公園 山崎澤公園 A=1,400㎡
□提案事業 地域創造支援事業 公共下水道整備 L=480m

○関連事業 公共下水道事業 L=1,100m

凡例
 ■ 施工エリア
 ■ 基幹事業 道路
 ■ 基幹事業 土地区画整理事業
 ■ 基幹事業 高質空間形成施設
 ■ 提案事業 地域創造支援事業
 ■ 関連事業 公共下水道事業

市道鵜325号線の整備状況



(整備前)



(整備後)

まちの課題の変化

- ・地区内に災害時等の緊急車両が容易に進入できるようになり、消防活動困難地区が解消され、一定の防災機能が確保された。
- ・地区内の通過交通の抑制対策を講じ、主要幹線道路へ接続する道路を整備したことにより、生活交通の利便性が向上したが、地区内の通過交通の排除と安全確保に取り組む必要がある。
- ・土地区画整理事業等による人口増により、地域生活の活性化が図られた一方で、今後は人口増に伴うコミュニティの構築が必要である。
- ・平成20年8月に市景観計画重点風景地区「木曾川河畔地区」の指定により、良好な眺望景観の保全に取り組んでおり、今後は木曾川、鵜沼城址の景観資源を活かし、河川敷において河川に親しめる空間づくりが必要である。

今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)

- 住民との協働による清掃・美化・緑化活動により、整備された道路や公園などの維持管理を行う。
- 住民と行政の協働により、さらなる災害に強いまちづくりに向けた自主防災対策や、安全・安心に暮らせる防犯対策を促進する。
- 木曾川や鵜沼城址の景観資源を活かした、河川に親しめる河川敷の整備を行う。
- 地区の安全・安心で住みよい住環境を守るため、国道21号線と県道春日井各務原線からの通過交通の排除や市道鵜327号線の歩道設置などに取り組む。
- 福祉や子育て、教育、健康づくり、景観づくり、防犯・防災対策など、安全で安心なまちづくりをめざし、地域協働によるコミュニティ活動の推進を支援する。